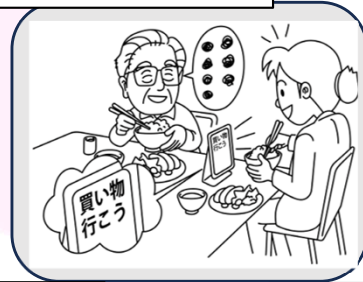


ろう・難聴者が親や家族の介護をする「老ろう介護」の本



文字起こしで楽しくコミュニケーション



愛と笑いをたっぷり



ほっこり見つめ合う



親が危篤状態のとき、コミュニケーションができなかったら……

川崎 泰子 (元ケアマネジャー)

遠隔手話通訳の方が、母が私の話に一生懸命反応していることに気が付いてくれました。手話通訳がなければ孤独な見送りになってしまったかもしれません。



介護の知識やスキルがないのが不安…
延命措置について本人の意思を守りたい…

平川 美穂子 (介護歴11年)

事前に知識があれば、もっとできることがあったかもしれない、でも多くの方に助けていただきました。言葉で表現できなくても母の心は相手を思う気持ちや感謝であふれていました。

介護の経験を活かして頑張ってきたけれど、
どうしても心残りがある…
みんなでこの気持ちを共有したいな



吉元 知絵 (介護職員)

愛を伝えることが大事。少しでも愛情を表現してほしい。
コミュニケーションを大事にしてほしい。「ありがとう、大好き」と伝えることができる幸せを手放さないでください。

— 内容 — A5判 144 ページ

・ありのままトーク

老ろう介護において不安だったこと
老ろう介護における情報保障
在宅での看取りについて など

・エピソード

- ☆初めて父のジョークにつっこみを
入れられた！
- ☆家で死にたい
- ☆終(つい)のアイコンタクト など

この本を書いた3名とも
デフケアラーです

介護という現実を前にして、情報を求めて本やネットを必死で探しましたが、ほとんど見つかりませんでした。同じように、不安を抱えているデフケアラーは多いのではないのでしょうか。私たちの経験や工夫、情報保障の課題などをありのままに綴りました。
この本を手がかりに、仲間の輪を広げ、きこえないみなさんの「あかるい老ろう介護」につながっていくことを心から願っています。

ご注文・お問い合わせ

定価：1500円 送料別

<https://forms.gle/gcJ2D8mwsNt9G2KK9>

akarui.rouroukaigo.book@gmail.com

